

よしな ベっそ かずゆき
マート吉名の別祖一之さんにインタビューをしました。



しつもん1

どうして吉名町で、じゃがいもを栽培するようになったのですか？

こたえ

吉名町は暖かい気候で、傾斜地が多く日当たりがよいので、じゃがいも栽培するのに適しています。

わたしの家では子どものころから畑でたくさんのじゃがいもを栽培していて、昔は兵庫県や大阪府などの関西地方へ出荷していました。

しつもん2

じゃがいもを栽培するときに気をつけていることは何ですか？

こたえ

2年くらい前から、じゃがいもが大きくなっておいしくなるための肥料をまいています。こうすることによって、じゃがいもの根がじょうぶになり、たくさんのじゃがいもを作ることができます。また、じゃがいもを植えつけるとき、黒いビニールを畑に敷く「マルチ栽培」をしています。これはじゃがいもがきれいで早く育つからです。



おいしそうじゃがいもがたくさん売られています。

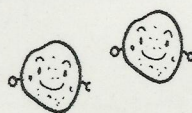
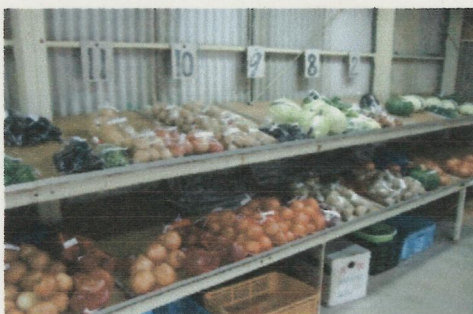
しつもん3

どんなことが大変ですか？



こたえ

天気によって、じゃがいもを植えつけたり、ほったりする農作業がおくれることです。



竹原市の子どもたちに、一言お願いします。

吉名町のじゃがいもは生産量が日本一になるほど栽培が盛んでしたが、今では、じゃがいもを栽培する人が減っています。吉名のじゃがいもを栽培する人が増えることを願っています。

旬の野菜がずらりとならんでいます。お客様の「おいしかったよ」の言葉がうれしいそうです。